



イマーナ

神の影

ルワンダへの旅—記憶・証言・物語

ヴェロニク・タジヨ著 村田はるせ訳

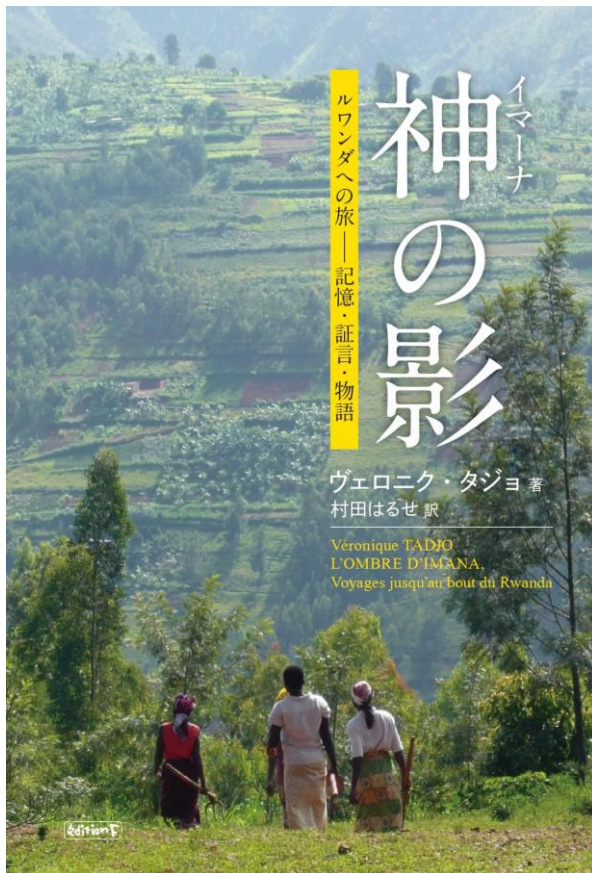
2019年10月下旬
発売予定

四六判 216 ページ

定価 本体 2,000 円+税

ISBN 978-4-909819-06-2

C0097



「起こったことはわたしたちすべての人間にかかわりがある」(本文より)

1994年、ルワンダでジェノサイドが勃発する。大惨事の傷跡の癒えぬルワンダで1998年、アフリカ人作家によるプロジェクト「ルワンダ、記憶する義務によって書く」が実施され、コートジヴォワール人のヴェロニク・タジヨも参加者に名を連ねた。本書はその旅での人々との出会い、目撃したさまざまな事象からタジヨが熟考を重ね、言葉を紡ぎ、書き記した一冊である。

【著者】ヴェロニク・タジヨ Veronique TADJO: 1955年フランス・パリに生まれコートジヴォワール・アビジャンで育つ。詩人、小説家、児童文学作家。現在は英国ロンドンとアビジャンを拠点に活動。2007~2015年南アフリカ共和国ヴィットヴァターズランド大学でフランス語部門の責任者を務める。邦訳作品は本書『神(イマーナ)の影』のほかに絵本『アヤンダ おおきくなりたくなかったおんなのこ』(村田はるせ訳、風濤社、2018年)がある。

【推薦の言葉】(帯文)

「ルワンダの悲劇」から25年。この間も人類は殺戮をやめようとしない。著者は旅で出会った真実を書き記し、人びとの記憶から人間模様を描き出した。物語はわたしたちに、共生社会のあり方について思考する機会を与えてくれる。

—ウスビ・サコ(京都精華大学学長)

【訳者】村田はるせ: 東京外国語大学地域文化研究科博士後期課程修了(博士(学術))。アフリカ文学研究者。西アフリカで出版された絵本の紹介と展示を全国で展開している。

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

●すべての取次への出荷が可能です。

●返品は常時お受けいたします(了解者: JRC 後藤)

貴店番線印	注文数	発行 エディション・エフ info@editionf.jp	返品条件付き注文扱い
		神(イマーナ)の影 ルワンダへの旅—記憶・証言・物語 ヴェロニク・タジヨ著 村田はるせ訳	
		定価 本体 2,000 円+税 ISBN978-4-909819-06-2 C0097	
ご担当: 様	冊	(株)JRC TEL 03-5283-2230 FAX 03-3294-2177	